



8月・9月 予定表	1
7月例会出席者・6月山行実績・山行コメント	2
2025年度・各部の役割分担	3～5
山行案内（8月・9月・10月）	6～10
山行報告	
・オリンピック国立公園（嶋本）	11～12
・2025 フンザ&ナンガパルバット周遊トレッキングその1・その2（林）	13～22
・ニペソツ山&十勝岳（富永）	23
・赤薙山（桐生）	24
・北海道の山（石塚・畑中眞）	25～26
・花の飯盛山へ（伏見）	27～28
・八海山・坂戸山（富永）	29～30
短歌 涼しかった裏筑波山を振り返り（羽鳥）	31
思い出の山（蓮見）	32
ちょっと一言（吉留政・富田）	33～34

## 表紙写真紹介

2024年10月19日県連の16名 韓国の最高峰「北漢山」を目指す。地下鉄の駅を出たらすぐに ドカーンと山がそびえたち、そこから昼食の“キンパ”を求めながらしばらく歩き、登山口へ。思っていたより急登で、道はしっかりしていたが石ゴロゴロ。途中何か所かでこのような景色とソウル全体を見降ろすことができた。頂上はヒトの群れで身動きが取れず、あきらめて下山。

～～井上勝代～～

### 会報部からのお願い <表紙写真>

9月号は山脇多美さん、10月号は梅田尚志さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（清水）へ提出して下さるようお願いいたします。

## 8月・9月予定表

		8月			9月
1	金		1	月	
2	土		2	火	
3	日		3	水	山行部会 (18:00~20:00)
4	月		4	木	
5	火		5	金	
6	水	山行部会 (18:00~20:00)	6	土	
7	木		7	日	
8	金		8	月	
9	土		9	火	
10	日	例会お休み	10	水	
11	月	山の日	11	木	
12	火		12	金	
13	水	運営委員会お休み	13	土	
14	木		14	日	例会(14:00~16:00)
15	金		15	月	敬老の日
16	土		16	火	
17	日		17	水	運営委員会
18	月		18	木	
19	火		19	金	
20	水	乗鞍岳	20	土	
21	木	一泊二日	21	日	
22	金		22	月	編集会議 (10:00~12:00)
23	土		23	火	秋分の日・松戸矢切の渡しウォーク
24	日		24	水	
25	月	編集会議 (10:00~12:00)	25	木	
26	火		26	金	
27	水		27	土	羅漢寺山
28	木		28	日	
29	金		29	月	
30	土		30	火	
31	日				

2025年10月山行予定

※10/4 (土) 鋸山

※10/19 (日) 塔ノ岳

県連※10/17 (金) ~10/21 (火) 韓国登山 (四泊五日)

※10/26 (日) ふれあいハイク (三船山) ※11/10 (月) ウィークデー山行

## 例会報告

7月例会出席者                    2025/07/13                    35名                    司会桐生

手塚、安彦、鈴木、岡部、桐生、村上、八巻、伏見、前田延、山岡、村田、四元  
五十嵐、四元、江崎、三橋、石塚、嶋本、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、  
山口、菅原、清水、畑中眞、笹、岡田、富田、吉留政、吉留と、西堀、林、尾上  
大草

### 6月の山行報告

下記 URL から参照をお願いします。

[https://www.tokatsu.club/\\_files/ugd/ad8bf1\\_ecd033519aee4462bc94f45e1b39fbf4.pdf](https://www.tokatsu.club/_files/ugd/ad8bf1_ecd033519aee4462bc94f45e1b39fbf4.pdf)

## 2025 年度・各部の役割分担

### 事務局の役割分担

メンバー	14名						
	羽鳥健一郎	四元一成	笹眞一郎	野澤直千	吉留政治	西堀正弘	池谷道隆
	村上和子	三橋和子	石塚洋子	嶋本道子	井上勝代	吉留とも子	岡田友子
主な業務	担当者						
1	例会他の会議室の確保	村上	三橋				
2	例会の司会(3部門の輪番)	石塚	吉留(と)	笹	9月、12月、3月		
3	総会の司会、議長、書記	羽鳥	笹				
4	運営委員会への出席	羽鳥	笹				
5	労山基金	吉留(正)	西堀				
6	スポーツ安全保険	井上(勝)	嶋本				
7	入会希望者への説明(例会の後)	羽鳥	笹	嶋本			
8	入会・退会の諸手続き	羽鳥	四元				
9	全国連・中央公民館との窓口	羽鳥					
10	東葛山の会のPR活動(鎌ヶ谷市)	四元	野澤	西堀			
	(松戸市)	羽鳥					
	(白井市・印西市)	石塚					
11	ロッカーの管理	羽鳥	笹				
12	中央公民館ふれあいまつり会議	羽鳥	四元				
13	中央公民館ふれあいまつり準備 他	全員					
14							

### 山行部の役割分担

#### 1. 山行計画管理

会山行計画及び個人山行計画の受付内容確認、及び下山報告受取

・担当者：熊谷、蓮見、河野

#### 2. 会山行検討担当者

毎月の山行部会で会山行の提案書の内容を検討

・49回定期総会議案書で配布済会山行年間予定表・担当者を参照

#### 3. 会山行参加確認書の作成

会山行の参加確認を Google フォームにて作成、会員にメールで案内

・担当者：熊谷、蓮見、河野

・会山行月別担当：9 月度会山行熊谷、10 月度会山行蓮見、11 月度会山行河野、以降順番に担当

#### 4. 山行一覧記録管理

Google スプレッドシートの表にて管理

- ・ 会員の山行計画を受け取り表に記載
- ・ 月初に前月度の一覧を作成、会員へ配布
- ・ 総会資料の年間一覧表作成
- ・ 担当者：熊谷、蓮見、河野
- ・ 各月担当：7月熊谷、8月蓮見、9月河野、以降順番に担当

#### 5. 新人受け入れ

例会での新会員への説明、会山行でのフォロー

- ・ 例会参加者及び会山行参加者全員にて担当

#### 6. 山行部会での講習

山行部会にて会員向けに山行の講習会を実施

- ・ 担当者：熊谷、河野、中野、林
- ・ 各月担当：8月熊谷、9月熊谷、10月河野、11月林、12月中野、以降順番に担当

#### 7. 例会での司会

例会での司会進行

- ・ 担当者：9月及び12月の山行部会で確認
- ・ 担当月：10月、1月

#### 8. 会の装備管理

現状新しい装備購入予定はないので、欲しい会員に案内及び廃棄の担当をお願いします。

- ・ 担当者：菅谷、江崎、間瀬、村田、赤塚、

#### 9. 年間山行計画案作成

来年度の会山行計画を担当

- ・ 担当者：熊谷、畑中（桂）、田中、及川、大草、手塚、猪狩

## 会報部役割分担表

部長：清水 副部長：加藤・菅原

部員：梅田 山岡 八巻 前田え 井上順 山脇 前田せ 前田悟 柳 桐生 尾上

★会報「やまびこ」

( ) はサブ担当

- 表紙/お知らせ/編集：清水 (桐生)
- もくじ：前田せ (加藤)
- 予定表：八巻 (清水)
- 例会・出席者+山行実績：前田え (山脇)
- 山行案内：山岡 (梅田)
- 山行報告・感想文：山岡、桐生、菅原
- 思い出の山：加藤 (桐生)
- ちょっと一言：柳 (前田せ)
- 編集後記：編集担当：山脇 (前田え)
- 会場費：尾上 (菅原)

### 編集後記

7月	8月	9月	10月	11月	12月
桐生	加藤	清水	菅原	前田せ	山岡 井上順

1月	2月	3月	4月	5月	6月
梅田 前田悟	前田え	八巻	尾上	山脇	柳

★ 例会司会：

8月加藤 11月桐生 2月山脇 5月前田せ

★ 「やまびこ」電子化 (PDF) 変換、ページ挿入：梅田 (清水)

★ DROP-BOX管理：清水

★ ホームページ関連：清水

# 山行案内

## 8月の山行予定

\*乗鞍岳 (のりくらだけ) 3026m (ゆるい山) : (体☆☆)

日時: 8月20日(水) ~ 21日(木) 1泊2日

担当: 岡田・四元・熊谷・岡部

## 9月の山行予定

\*松戸～矢切の渡し～柴又 ウォーキング 全会員対象 : (体☆)

戸定邸、矢切の渡し、柴又帝釈天等をめぐるウォーキング。

日時 9月23日(祝) 雨天中止 松戸駅9時30集合

コース 松戸駅…(10分) …戸定邸…(1時間) …矢切の渡し…(乗船6～7分) …(昼食) …寅さん記念館…柴又帝釈天(彫刻)(解散) …柴又駅

歩行時間 約1時間30分

見学休憩時間 約4時間

その他(1) 当日強風の場合、船が運休の為、戸定邸より徒歩で柴又まで行く。  
(約1時間)

(2) 乗船の定員が30名の為、参加者が30名以上の場合は、先行、  
後行に分かれて乗船する。船は15分おきに出るそうです。

(3) 2025年9/1～10/3まで戸定歴史館のみ休館日、戸定邸・歴史公園は入館できる。

概算費用

戸定邸見学料…一般(320円)・(20名以上の団体割引) 250円 矢切の渡し…300円

寅さん記念館…(一般) 500円・(シニア・65歳以上) 400円…証明書持参

柴又帝釈天拝観料…400円・(団体割引20名以上) 300円

交通費

往路: 新鎌ヶ谷—松戸 209円

復路: 京成柴又—新鎌ヶ谷 481円

担当 (CL) 鈴木・(SL) 笹・八巻・山岡

\*羅漢寺山 (らかんじ山、弥三郎岳) 1058m ややゆるい山 (体☆☆ 危技白☆)

ジャンル: ■縦走 場所: 甲府市猪狩町

日時: 9月27日(土)

交通

往 路：新鎌ヶ谷 6:31→6:44 船橋 6:53 (特急あずさ3号) →9:08 甲府  
9:15 バス→9:45 昇仙峡口 (長潭橋：ながとろばし)

復 路：昇仙峡滝上 15:52(バス) →16:41 甲府駅 (9月改定の可能性あり)

(参考) 甲府駅 17:02 (特急あずさ44号) ~ 18:45 新宿

山の特徴：

かつて金峰山信仰の修験権者達が歩いた古道『御嶽道』。樹林帯には歌川広重が描いた奇岩や、炭焼き窯跡が残り歴史を感じる。天を突くようにそそり立つ大刀抜き石や、花崗岩と風化した白い砂が幻想的な白砂山、そして羅漢寺山の頂上からは富士山、金峰山、茅が岳、八ヶ岳、南アルプスなど360度のすばらしい眺望。

コース：行程及びコース図



コースタイム

5時間 距離6km 標高差 登り700m、下り150m (それなりにきつい)

登山口 9:50…太刀の抜き石…11:57 白山展望台 (昼食)

12:27…13:12 白砂山 13:22…13:54 パノラマ台駅…14:14 羅漢寺山

14:34 パノラマ台駅…15:00 昇仙峡滝上

(ロープウェイ) 15:52(14:32)バス (0:50) →16:41(15:21)甲府駅

概算費用

交通費概算：約11,000 (ジパング利用、バス、ロープウェイ含む)

山梨第一交通タクシー 055-224-1100

その他： 昼食・装備・下見・入浴等

甲州市観光課 055-237-5702 観光協会 055-226-6550

担 当： 清水、四元、猪狩、

## 10月の山行予定

### \*鋸山 329m (ゆるい山) : (体☆☆)

むき出しの岩壁が連なり名所が沢山有り、東京湾を始め、富士山、伊豆半島、伊豆七島と関東一円を見渡せる大パノラマが広がっています。

日時：10月 4日 (土曜日) 集合：現地浜金谷駅 ( 9時10分 )

#### 交通

(往路) 新鎌ヶ谷駅 6:23→鎌ヶ谷 6:25→6:35 船橋 6:47→7:08 千葉 7:15 (③番線・上総湊行) →8:28 上総湊 9:00 (安房鴨川行) →9:10 浜金谷

(復路) : 浜金谷 15:08 (木更津行) →15:36 君津 15:39 (③番線久里浜行) →16:48 船橋 17:05→17:15 鎌ヶ谷→17:17 新鎌ヶ谷

山の特徴 (危険) : 江戸時代から房州石の採石場として利用され、切り出した石を運ぶ為に作られた車力道など、その採石跡が鋸の歯の様にギザギザしている事から名付けられた。

大仏様や地獄覗きが有名で山腹にきり立った岩肌が迫力満点!

#### コース

浜金谷 9:25… 9:35 観月台登山口…車力道コース… 10:25 猫丁場… 11:00

東京湾展望台… 11:20 (鋸山・昼食) 11:50… 12:20 石切場跡… 12:35 岩舞台… 12:45 地獄覗き… 13:00 ラピュタの壁… 13:10 日本寺北口管理所… 13:15 山頂見晴らし…13:22 通天閣ここで折り返す…13:30 日本寺北口管理所…ラピュタの壁 …13:40 関東ふれあいの道合流点…14:20 ふれあいの道登山口 … 浜金谷 14:30

【歩程】: 累計標高差 388m・登り (2時間)、下り (1時間40分)

交通費・ ¥3454

担当 : (CL) 赤塚、(SL) 野澤・富田・西堀

### \*塔ノ岳 (とうのだけ) 1491m 縦走 きつい : (体★★★+危技★) 場所 : 秦野市

日時 : 10月19日 (日)

#### 交通

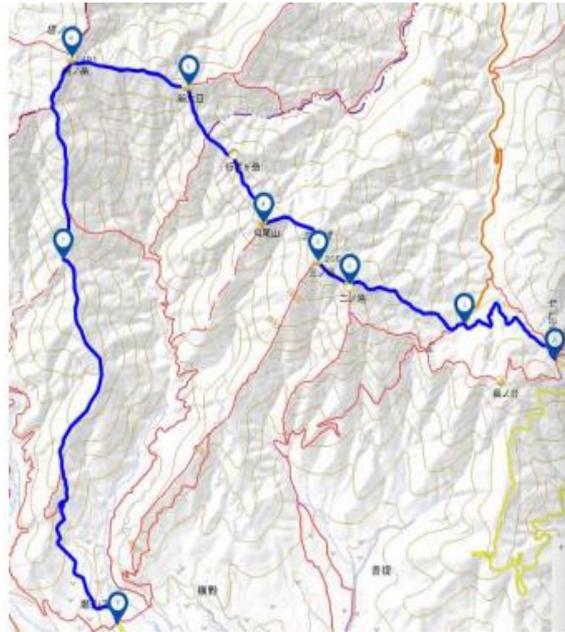
往路 : 新鎌ヶ谷 5:03→5:16 船橋 5:27→6:16 新宿 6:21→7:29 秦野 7:44→(神奈中バスヤビツ峠行)→8:32 ヤビツ峠

復路 : 大倉 18:38→18:53 渋沢 19:01→19:36 町田 19:40→20:16 新宿 20:21→20:42 日 20:49 →21:02 京成高砂 21:03→21:15 新鎌ヶ谷

山の特徴 : 塔ノ岳の最短コースは南側の大倉尾根。標高差が1200mで急登が続き、『馬鹿尾根』と呼ばれる。今回は、東南の表尾根を登る。コースは、変化に富み、展望もよい。

一方、長いコースでアップダウンや鎖場もあり、エスケープルートもないため、相当の健脚、スタミナが必要。

## 行程及びコース図



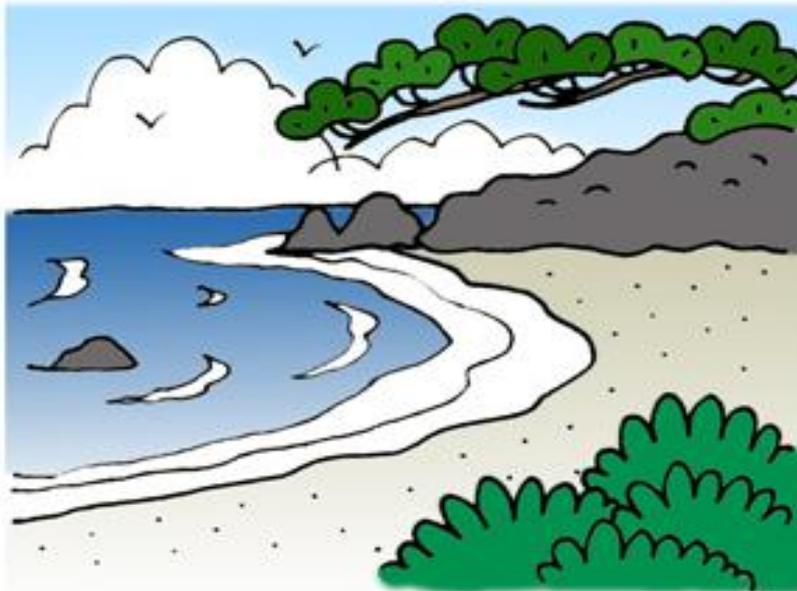
コースタイム：7時間（休憩除いた標準歩行時間） 標高差 登り 730m、下り 1200m  
ヤビツ峠 8:40・・・10:10 二ノ塔 10:20・・・10:30 三ノ塔 10:40・・・12:10 新大日(昼食)  
12:40—13:40 塔ノ岳 14:00・・・15:30 堀山の家 15:50・・・18:10 大倉

## 概算費用

交通費概算：約 4000 円

● 秦野ビジターセンター（登山道情報）0463-87-9300、秦野交通（タクシー）0463-81-6766

担 当： 田中・柳・河野



## 県連関係予定行事

### クライミング講習（入門編）6回シリーズ（3回までは実施済）

- 第三回：7/13（日） 実施 印西クラック於
- 第四回：8/23（土） 予定 印西クラック於

### オンライン講習会（2回までは実施済）

- **第三回**：9/25（木）19：00～20：30「登山計画届“コンパス”の紹介」  
講師：インカム株式会社
- **第四回**：11/27（木）19：00～20：30「クライミング安全対策」  
講師：全国連副理事長・遭難対策部長 石川 昌氏

### 海外登山：韓国（ソウル5大名山） 10/17～10/21

「韓国ソウル近郊3座に登る」道峰山・水落山・仏岩山

\*8/17まで追加受付可能（5名の増枠あり、但し料金が変わる可能性がある）

### ふれあいハイキング（障害者支援ハイク）

- 日時：10月26日（日）
- 場所：君津市「三船山（138.7m）」
- 募集予定：千葉労山会員50名程度/障害者20～30名程度
- \*詳細は「2025 ちばニュース7月号」をご覧ください
- \*登山口までの移動（行き）は鎌ヶ谷市役所前から乗車します。（帰りは未定）

### ウィークデーハイク 11月10日（月）「軍荼利山～一宮」

- 5月に中止したイベントのリベンジです。「ちばニュース8月号」掲載予定

### 全国連からの情報提供（県連にて取りまとめます、富永まで）

- 自然保護講座 in 青森：9月27日～28日 岩木青少年スポーツセンター
- 「若手のためのクライミング講習会」：10月4日～5日、50歳まで
- 全国登山研究集会：11月15日～16日 新大阪ユースホテル

## オリンピック国立公園 5/30~6/2

嶋本 道子

シアトル近郊のオリンピック国立公園をアメリカに住んでいる娘夫婦と歩いてきました。

氷河におおわれた高山帯の麓にジャングルのような温帯雨林が広がり、すぐそばには手つかずの海岸線が広がっています。

公園に入るには、車一台 30 ドル（7 日間有効）のパスの申請が必要です。

### ハリケーンヒルトレイル

カークランドを出発、キングストーンからフェリーで 30 分ポートエンジェルズに到着しました。ここからハリケーンリッジへ、1500m のポイントまでつづら折りの急坂を車で行くことができます。

当日はまだ雪が残っていて一番奥の駐車場まで入ることが出来ず、二つ手前の駐車場からハイキングを開始しました。

登山口にはクマ、クーガーに注意の張り紙があり緊張しました。

氷河と残雪のオリンピック連山を眺め歩道沿いにはグレーシャーリリー、ペイントブラシが咲き、リス・鹿・マーモット・ウサギなどにも簡単に会うことが出来、感動の連続でした。

何年か前に山の会で行ったカナダのトレッキングを思い出しました。

この日はお天気に恵まれ、山頂からはカナダとの国境ファンデフカ海峡越しにビクトリアの街を見渡せました。

### ホーレインフォレスト

ホール・オブ・モストレイル、スプルース・ネイチャー・トレイルを歩きました。国立公園の西側にある温帯雨林で、木々の枝という枝を苔がおおいレースの様に垂れ下がり異様な雰囲気でした。モス、シダ、モス、シダと掛け声をかけながら雨の中を歩いたミルフォード・トラックの山行を思い出しながら歩いていました。



## リアルトビーチ

流木の山を越え、やっと砂浜が出現、延々と岩礁が続いていました。砂浜でアザラシの赤ちゃんを発見、死んでいるのかと思いましたが、かすかに動いていました。早く潮が満ちて海に戻してあげたいと思いましたが、レンジャーに電話している人の話だと、どうやら親とはぐれたか病気で親がおいていたらしいです。

岩場では水がきれいなので、ヒトデ、イソギンチャクを見ることができ色の鮮やかさに感動しました。砂浜なので歩きにくかったのですが、13時の満潮まで山歩きとは違ったウオーキングを楽しみました。

オリンピック半島をほぼ一周しましたが国道101号線沿いは、ずーっと黄色のエニシダが咲きとても奇麗でした。



帰りの空港の出発ゲートで待っていると名前が呼ばれ、悪い知らせ？良い知らせ？ドキドキしながらカウンターに行きました。

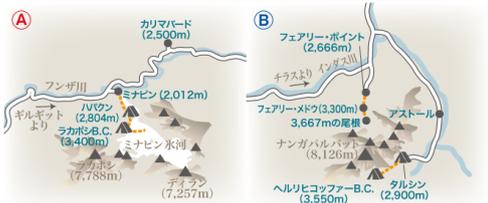
ラッキー！！なんとエコノミーからプレミアムエコノミーにアップグレードしてくれたのです。6月誕生日の私へのプレゼント、後期高齢者の仲間入り、忘れられない旅になりました。



## 2025 フンザ&ナンガパルバット周遊トレッキング 2025.06.20-7.06 林 孝和

一昨年、県連のエベレスト街道トレッキングでお世話になったワンダーズアドベンチャー社長、中山岳史氏が主催されるフンザ&ナンガパルバット周遊トレッキングに参加しましたので、数回に分けて報告します。参加者は男性4名、女性2名の計6名。メンバーは東葛山の会からは私とOさんの二人、Oさんの友人で柏市のKさん、県連のエベレスト街道トレッキングで一緒した千葉市のYさんと東京のNさん、それから岡山県からの参加のFさんで、平均年齢は71才とシルバー隊でした。Fさんはツアー中に68才になったばかりの最年少ながら若い時からモンブラン、アコンカグア、キリマンジャロなど世界中の山々を登ってこられたベテランでした。

6月20日朝9時に成田空港に集合してTG643で12:00に出発し、16:30バンコク着、TG349に乗り換えて19:00出発、22:10イスラマバード空港着、荷物を受け取ってから外に出ると、今回のツアーで世話をしてくれる日本語が堪能な現地ガイドのイツサさんと山岳ツアー会社METT, Mashabrum Expeditions Treks & Toursの社長さんがバラの花束で迎えてくれました。記念写真を撮ってから専用バスで40分程でホテル・ヒルビューへ



6月21日荷物をスーツケースからダッフルバッグへ移して、朝食後7:50出発、イスラマバード空港からスカルドゥ空港まで飛行機で移動、この便は欠航になることが多いらしいが、その場合はバスで16時間の移動となるために、飛んでくれて感謝。飛行機の右側の窓側だとナンガパルバットが眺望できるが左側だったため残念。飛行時間は1時間弱で着けるスカルドゥ空港は高い山に挟まれたインダス川の谷間にあるために着陸時の狭い谷の中での旋回はスリル満点。スカルドゥはカラコルムへの始点のため、空港にはK2登山隊の写真が掲示してあります。荷物を受け取ってから外に出ると、METTのスカルドゥのスタッフが迎えてくれました。記念写真を撮ってから専用バスでインダス川の渓谷沿いの

S-1 道路をギルギット方面へ南西へ下って行く。途中 Midway Hotel Astak で昼食を摂る。ここではガーネットの結晶を含む片麻岩がみられた。またこの周辺ではインダス川に削られた岩壁に白い岩脈があり、それに沿って多くの穴が見られる。ペグマタイトの晶洞中の水晶、トルマリン、アクアマリンなどの鉱物を掘った穴である。後でこの産地の鉱物標本を購入できた。



その後、インダス川がフンザ川と合流する地点まで西方に下って、カラコルムハイウェイに入り今度はフンザ川沿いに北へ上って行く。夕方 7 時半にラカポシビューポイントで休憩。夜 9 時頃にフンザの Roomy Daastan Hotel に到着しました。

6 月 22 日 早朝に起き出してフンザの景観を見るためにホテルの屋上へ、黒と白の鳥カササギが出迎えてくれました。あいにくの曇り空で朝焼けは望めませんでした。山々に囲まれた桃源郷フンザの絶景を楽しむことができました。朝食後、フンザの村を散策しながらウルタルⅡ峰で雪崩にあって亡くなったアルプス三大北壁の冬期単独登攀を世界で初めて成功させた登山家・長谷川恒男氏を記念して日本からの寄付で建てられたハセガワ・メモリアル・パブリックスクール訪問。次に水路に沿ってフンザ王国時代の象徴バルチット城まで上る。

ここカリマバードは 1974 年まで独立国だったフンザ藩王国の王都があった場所です。フンザは自然の恵みを活かした素朴な食事で「長寿の里」としても知られ、お年寄りから子供まで、旅人を温かく迎えてくれる人々の優しさも印象的です。イスラム教スンニ派が大多数を占めるパキスタンにおいて、カリマバードに暮らす人々はイスマイル派を信仰しています。フンザでは、色白で鼻筋が通った、青い目をしたヨーロッパ風の顔立ちの人によく出会います。彼らの起源は、北方からの移民だとされています。ここでは美しい女性達が歩いている姿が見れて、この女性たちはカメラを向けても嫌がりません。バルチット城は藩主の居城だったもので、今は博物館になっています。15 世紀にチベット文化の影響を持つバルチスタン地方（スカルドゥ）から王女を迎えたことから、ポタラ宮に似ています。



次にアルチット城を訪問。アルチット城は川向こうのナガール王国からフンザを守るために大理石の岩体の上に築かれた城で、城壁内部は迷路のようになっており、外部からの侵入を防いできました。ここではちょうどチェリー・フェスティバルが開催されていました。

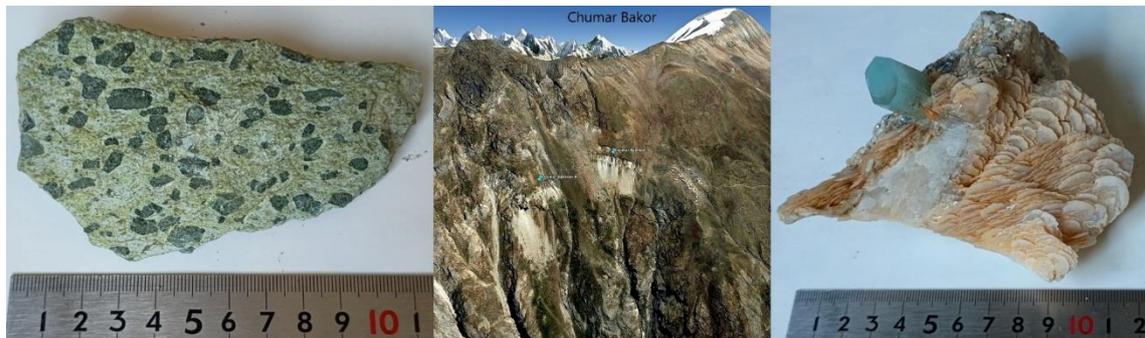


その後、フンザ川の対岸ナガールへ。ナガール王国とフンザ王国は1700年ごろから戦争を繰り返し、19世紀まですべての村人が「要塞村」に暮らしていましたが、その後の人口の増加により渓谷沿いに新しい村が築かれました。ナガール川に沿って渓谷を登ってゆき、奥に位置するホーパル村の先のホーパル・バレー展望所からはディラン峰から落ちるホーパル氷河を望むことができます。

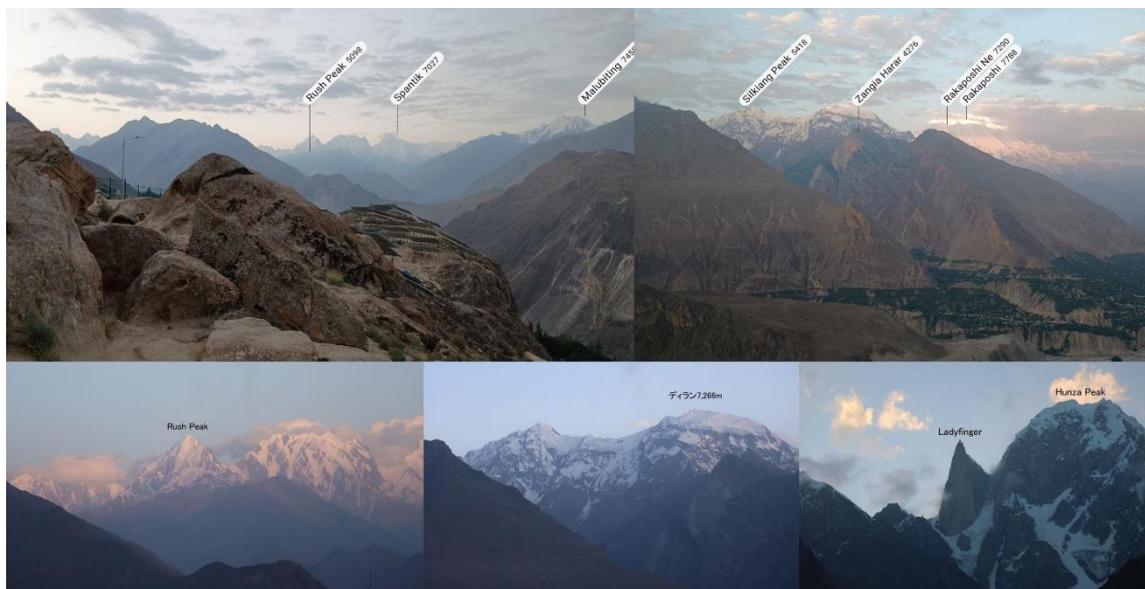


ホーパル・バレー展望所付近の岩石は緑色岩で Pyroxene の斑晶を多く含んでいます。このホーパル・バレーのすぐ西側には、フンザから南に入る SAS バレーがあります。この谷を上った所には、ちょうどホーパル村から真西に尾根を越

えた反対側のスマヤル溪谷の標高 4,470m 付近にチュマール・バコル Chumar Bakor という有名な宝石採掘地があります。ディラン 7,266m の北側、標高 4,700 メートルを超える山の西側に露出するこのペグマタイトに到達するには、フンザから 4~5 時間のトレッキングが必要です。高地のため、夏の間だけ稼働しています。今回はフンザ周辺のお土産屋さんなどで比較的安価に当地のアクアマリンなどの貴石を購入することができました。



ホーパル・バレー展望所からは、同じ道に戻ってドゥイカルの丘のリゾートホテル Eagle's Nest Hotel へ。夕方には、すぐ近くにある展望地イーグルネストからはラカポシ山 7,388m、ディラン 7,266m、ウルタール 7,388m、スパンティーク 7,027m、フンザピーク、レディーフィンガーなどの絶景を楽しむことができました。

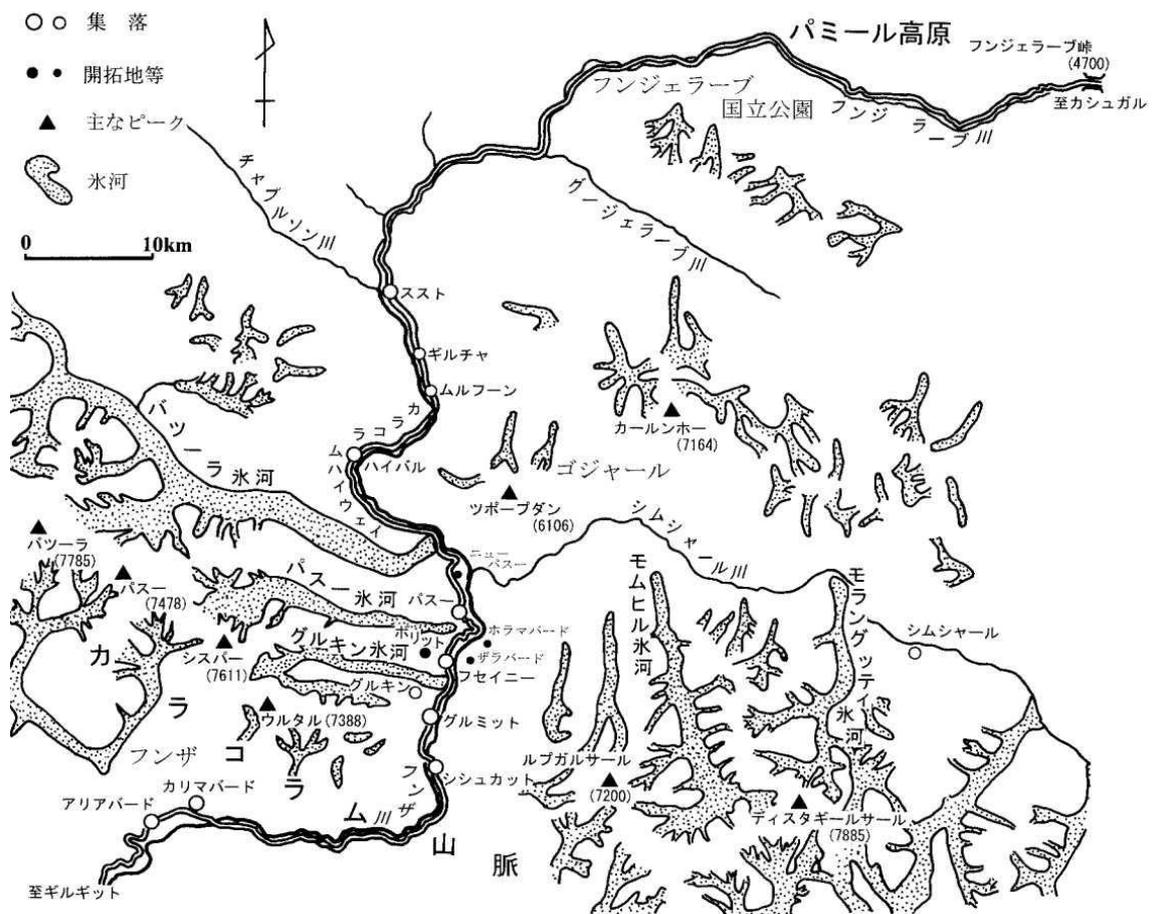


レディーフィンガーピークは現地語で「ブブリの山頂」を意味するブブリモティン。ウルタル・サール山塊の南西尾根に位置しており、南東のフンザ溪谷の上に急峻に聳えています。ブブリモティンは、近隣の山々の中でも比較的雪の少ない尖峰で、その名の「淑女の指」のように鋭く尖っている美しい岩峰で、6,000m のロッククライミングが楽しめる山でもあります。1995年にクライマー

の山野井泰史氏が未踏壁だったビッグウォール南西壁を妙子氏らと 3 人で初登しています。

この山頂にまつわる興味深い民話があります。バルティスタン出身の魔法使いの王子キサルが冒険の途中、フンザを訪れ、ブブリという名のガ族の王女と結婚したというものです。バルティスタンで最初の妻ランガブルモが誘拐されたという知らせを受けると、キサルはすぐに彼女を救出する準備をしました。彼はブブリをこの山に連れて行き、穀物の入った袋と雌鶏を手渡しました。彼女はいつ戻ってくるのかと尋ねました。キサルはこう言いました。「毎年この鶏に穀物を一粒ずつ与えなさい。袋が空になったら戻ってくる。それまではここにいなさい。」彼は去ったが、ブブリはまだそこで待っているとされています。





“kinu Kutto” と呼ばれる旧シルクロードは、かつて徒歩道や荷駄馬の道として利用された崖っぷちに沿って見える道路です。



2010年1月4日に、フンザ地区の中心都市カリマーバードの東12キロメートル付近で大規模な地すべりにより天然ダムが発生した。インダス川の支流フンザ川がせき止められてできたこのダム湖、アッタバード湖にKKHが水没してこの付近が暫く通行止めとなった。中国の後押しによって2015年にトンネルなどの復旧工事が完了した。現在では湖周辺にはホテルやレストランが建てられ水上スキーや水上バイクが楽しめる重要な観光資源となっている。



アッタバード湖でトイレ休憩した後は、九時半頃パサーで止まってトポップダン山 (6,016m) の雄姿を背景に記念写真を撮る。トポップダン山は大聖堂のように見えるため、カテドラル (大聖堂) とも呼ばれている。別名パサーコーンズともいう。



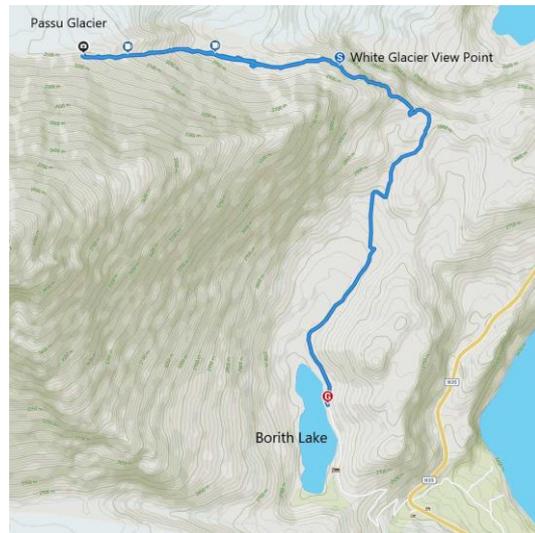
さらに KKH を北上し、12 時過ぎにクンジュラブ峠 4,880m に到着。急に高地に登ったので高山病にならないようにゆっくりと中国国境まで歩いて記念写真。こちらでは日本人はまだ珍しいのか、一緒に写真をと頼まれることが多い。地元のお母さんに頼まれて娘さんとツーショット。



1 時ころクンジュラブ峠から下り始める。昨年のツアーではアイベックスも見られたそうだが、今年は残念ながらお目に掛かれなかった。3 時前に途中の街スストで昼食を摂る。この辺は中国人が多く来訪する場所なので期待してチャーハンを頼むが、一口食べてもう結構というお味であった。その夜はカテドラルが目の前にすぐ見える Passu Ambassador Hotel に泊まる。すぐ近くの池でのカテドラルのリフレクションが素晴らしかった。



翌朝は早朝に朝日に照らされるカテドラルを見てから朝食。前述の地図に示すように、この辺りの KKH の西側には北からバツーラ氷河、パサー氷河、グルキン氷河という三つの氷河が並行して流れている。この日は、真ん中のパサー氷河を見ながら南側を登る。専用車のミニバスでボリス・レイクの脇を通って White Glacier View Point まで行き、8:50 歩き始める。最初は氷河壁の脇を登るが、その後は氷河から離れた凹地を登る。この辺りにはピンクのロサペンデュリナ（アルパインローズ）が多く咲いていて美しい。10:20 頃に再び 3,188m の氷河壁の上に到達する。ここからはパサーピーク 7,478m がよく見える。



パサーピーク 7,478m とパサー氷河

午後一時前には下山して、ボリス・レイクの下の高さ 2,600m 地点で、昨年 K2 で亡くなった平出和也氏と中島健郎氏が 2017 年夏に北東壁未踏ルートに登攀してピオレドール賞を受賞されたシスパーレ 7,611m の美しい姿をバックに記念写真を撮ってから、アッタバード湖脇の FAMREE Resort で昼食を摂る。このレストランの料理長はパキスタンの大使館でも働いたことのある有名コックで、この料理は間違いなく今回の旅行で最高であった。



昼食後、KKH のタショット対岸付近に停車して道路わきの片麻岩から分離したガーネットの結晶を拾ってからミナピン村へ向かう。17:30 宿泊地の Alpine Resort Minapin 到着。このホテルにはミネラルショップが併設されていて、これから向かうラカポシ BC やスカルドゥの水晶、アリバードの上部 3,040m の急斜面にあるルビー鉱山のルビー、Haramosh のトルマリンなどを比較的安価に購入できた。



一部、中山さんの写真も使わせて頂きました。

## ニペソツ山 (2013m) & 十勝岳 (2077m)

富永 好郎

### 【 6月23日 】 ニペソツ山

幻の百名山と言われ、深田久弥が百名山選定後に訪れ、「ニペソツ山は相応しい山だった。」と悔しがったとか。アイヌ達が「シナノキの樹皮が群生する山・・・」と呼んだことが語源になっている、東大雪山系の奥深い孤高を保った山です。

旭川からの移動中に、エゾシカが我々の車に接触するトラブルがありましたが、3時半には到着して幌加林道ゲートから歩き出しました。

幌加コースは沢沿い歩きが長く雪解けと重なり、大小渡渉点も多く、ぬかるみと温度が上ると虫がまとわりつきます。1662m峰からは曇りに隠れた一部が姿を現し元気づけられます。

雪渓を3ヶ所登り、ようやく主要な稜線へ出て、前天狗に到着しました。

普通の山ならここらあたりが山頂ですが、これからが本番です。

岩場一面のエゾノツガザクラの中を、前方にニペソツ山が強風で見え隠れしています。

最低鞍部から最後の登り返しは一気に山頂まで、10時40分(7時間半)到着しました。山頂は残念ながら雲の中でしたが、達成感を感じる瞬間です。

帰路も前方には天狗岳、後方にはニペソツ山が時々姿を現します。雲一つない晴天と違う“チラ見せ”山景色も趣がありました。

下山の林道は、大量の虫に遭遇して休憩無しで一気に降りました。

16時半ゲートに到着、13時間の長い長い充実した一日が終わりました。

### 【 6月24日 】 十勝岳

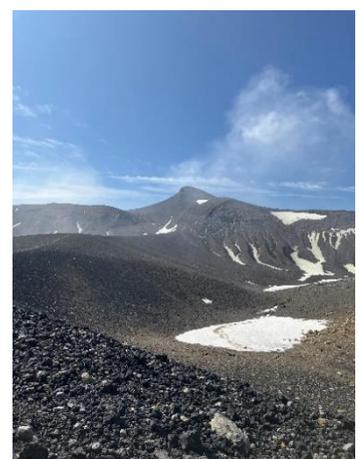
数年前は雨の中何も見えず、今回は快晴でリベンジを果たしました。十勝連峰(オプタテシケ山・美瑛岳・十勝岳・富良野岳)の稜線、大雪山系、夕張岳、トムラウシ山、前日登ったニペソツ山、遠くに斜里岳まで望めました。



(ニペソツ山)



(天狗岳)



(十勝岳)

## 赤薙山（あかなぎやま）

日程：6月28日（土）

メンバー：嶋本、五十嵐、桐生（記）

東武日光駅 8:18 着。霧降高原行きのバスは 9:00 で余裕があるが、土曜日なので乗客が多いと思い、先ずはバス停にリュックを置いてから、交代でトイレとバスの往復切符を観光案内で買い求める。（往復で 200 円安くなる）

9:30 霧降高原でバスを降りると、お目当ての『ニッコウキスゲ』はほぼ満開で、大勢の観光客とハイカーで賑わっている。

スタート、階段 1445 段を真っすぐに登り、帰りは花を見ながら遊歩道をゆっくり下山しよう！！と決めて歩きだす。500 段までは余裕、1000 段位で足が重くなり「花も見たい」と言い訳して水のみ休憩を数回とる。

小丸山から登山道になる。やっぱり土の道は歩きやすく楽しい。大きなザックを背負っている登山者が多い。女峰山の避難小屋に泊まって縦走なのかな？木の根っこを足場にして急登をハーハー言いながらよじ登って、11:50 赤薙山頂に到着。何とか予定時間に山頂に着いたので、ゆっくりランチタイム。



下山は時間に余裕があるので、ゆっくり『ニッコウキスゲ』を愛でながら階段から外れて遊歩道を下った。涼しい日光で、花と展望を満喫した日でした。

### <間抜けの話>

下山してバスに乗る前にトイレの鏡を見ると、あごにマスクをした私が映った。山頂での 3 人の写真でも、あごにマスクを付けて写っている。という事は行動時間 5 時間ず～と汗だくになっている時も、ランチの時も付けていたのだ。鈍感で間抜けの私に、ショック！！

## 北海道の山

石塚・畑中

7/2 畑中さんと石塚と他2人で翌日の富良野岳の為に、白銀荘に泊まりました。露天風呂がとても良いし、地元の方もオススメしていました。自炊、二段ベッドです。

### 7/3 富良野岳 ピストン

曇りがちで、雨具のズボンを履いて出発です。

ぬかるんでいる所もありましたが、雨が降らなかったのが、ラッキーでした。頂上は霧で展望無しですが、お花がたくさん咲いていました。

ゲストハウス泊 和室 食事無し。

夜はジンギスカンを食べに行きました。



### 7/4 沖里河山 (オキリカワヤマ) 周回

計画は天塩岳でしたが、富良野岳の歩きが遅かったため、楽な山に変えました。登りは自動車も通れる林道が続きますが、頂上近くになると、白樺の並木道になり、素晴らしいです。

下山は、登ったり下ったり、無名山と剣山を通過し、少し歩きが長くなりましたが、変化があり楽しかったです。

3日と同じゲストハウス泊。

(石塚 記)



### 7/5 雨竜沼湿原 ピストン

今回の2番目のハイライト。ラサール条約湿地に登録されている、尾瀬のようかな？

登りがいやにキツイ。鳩待峠、三平峠こんなだったかしら？

湿原テラスから眺める暑寒別岳、南暑寒岳は素晴らしい！！この時期に咲いているエゾカンゾウは見当たらない。

鹿の親子かペアがこちらを見ている。

(あとで調べたら鹿の食害)

熊に注意の看板が多数あった。

泊まりはワークマンハウス。個室7.5畳くらい、新築で快適。夕食はテイクアウト、貸し切りの食堂で反省会(きりが無い)



### 7/6 尻場山

最終日、空港から遠くない尻場山(296m)

名前のおりの山で真下に積丹ブルーの海。

リーダーが北海道に上陸してからリースした熊スプレーは使わないで済んだ。

2日目からアメリカシロヒトリの毛虫の大群にビックリ!!

蚊、アブは気が付かなかったけど、友達はマダニにやられた。

(帰宅後医者で判明)

私、去年は骨折後で夏山断念したが、今年は北海道の山に来ることができて良かった。

(畑中眞澄記)



## 花の飯盛山へ

2025年7月6～7日

参加者 桐生、五十嵐、嶋本、小林、伏見（記）

花の時期には野辺山駅からシャトルバスが運行されます（無料です）

11時過ぎに獅子岩に着きますと何と駐車場は満車で、路駐車の多いことにびっくりです。今までこんな光景を見たことが有りませんでした。

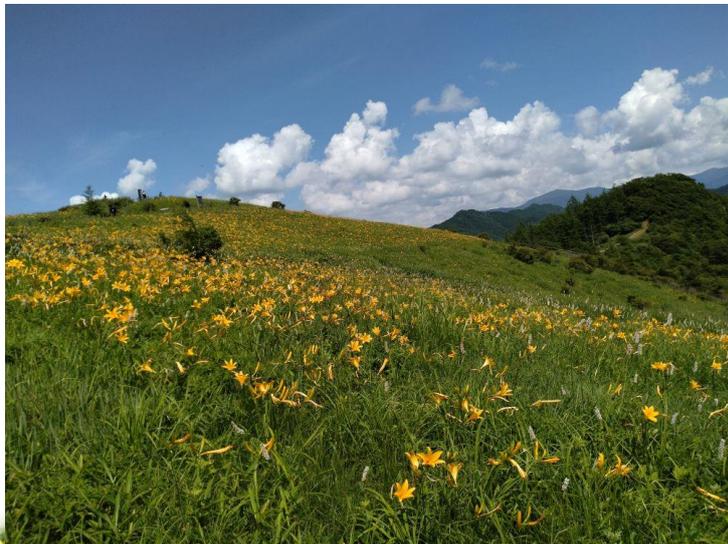
獅子岩から登り始めると、林間学校の生徒の多いこと、楽しい山道です。

平沢山にて連れ合いに花とお酒を手向ける。これから山頂を目指します。

今日は展望が無いけれど、大盛山の斜面が黄金色に輝いていました。「ニッコウキスゲ」「ピンクのシモツケソウ」「白いサラシナショウマ」・・・

お花に囲まれてゆっくりランチ後、飯盛山に登って、平沢登山口を目指して下ります。宿の車が待っていました。

今宵は馴染みのペンションに泊まります。





翌日は三ツ頭登山口まで送ってもらい、  
「八ヶ岳横断歩道」を歩き出す。

展望もなく、アップダウンの連続です。ランチ後、天女山までは無理と判断を  
しまして途中で下りました。

15年？位前に歩いた時には楽勝でしたのに。無理をせずお風呂まで送って頂  
き、サッパリとしてあずさに乗りました。

8月に入りますと「吾亦紅」「マツムシソウ」などが咲き乱れます。

皆様、お暇でしたら涼しい飯盛山に足を運んで見て下さい。



## 八海山・坂戸山（会山行）

富永 好郎

### 【7月23日八海山 距離8.3km 標高差1052m 山行時間≒7時間】

越後湯沢駅7:30に集合、男性6名・女性7名、2台のジャンボタクシーに分乗して、八海山ロープウェー乗場に到着する。通勤の渋滞と重なり8:20の始発便には僅かに間に合わず、20分後の次のロープウェー山頂駅で体操後、大日岳往復コースと地蔵岳往復コース（2班）、それぞれ予定より20分の遅れで登山開始する。ほぼ無風、薄曇りで切れ間から強い陽射しが照りつけ、歩き出しから汗がひたたりおちる。短い間隔で水分補給しながら、高度を上げ、女人堂から薬師岳が一番辛い登りが続く。千本檜小屋でヘルメットを装着して地蔵岳に到着時点でスタートの遅れを取り戻していた。ここからが八海山の核心部、不動岳→七曜岳→白河岳→釈迦岳→摩利支天岳→剣ヶ峰と脆い礫岩稜帯を鎖と梯子の登り・降りを繰り返して慎重に進むこと1時間半、1742m大日岳山頂に立つことが出来ました。長い鎖を降りて、八海山迂回コースから帰路を取りましたが、この迂回コース（簡単？）が難路で、片側が切れ落ち、鎖につかまりながら1時間トラバースの連続でした。思ったより時間を要して、千本檜小屋からはロープウェーの終電を意識してピッチを上げ、16:20（終電前）のロープウェーに乗り込むことができました。正に修験道の山で様々な試練（+酷暑）を与えてもらい、大日岳山頂では、大きな達成感を感じることができました。

### 【7月24日坂戸山 距離6.4km 標高差476m 山行時間≒4時間】

登山予定の飯士山は、スキー場のゲレンデを登り降りコースで陽射しを遮る樹木も無く、この気温では危険であるとの提案で、六日町の坂戸山へ急遽変更しました。宿の車で六日町駅まで送って頂き、余計な荷物をコインロッカーへ預けて、7:10には駅から歩き出しました。坂戸山登山口からは「春先、カタクリと桜が同時に見られる花の園」であることを聞きながら、樹木の枝葉が日陰をつくり、短い間隔で水分補給しながら登り、ほどなくして9:30には坂戸山山頂に到着しました。山頂の祠周辺はヤマユリが満開で、眼前に昨日登った八海山を目の前に見ることができました。11時には下山、六日町駅前で入浴と昼食でみなさんと交流を図ることができました。



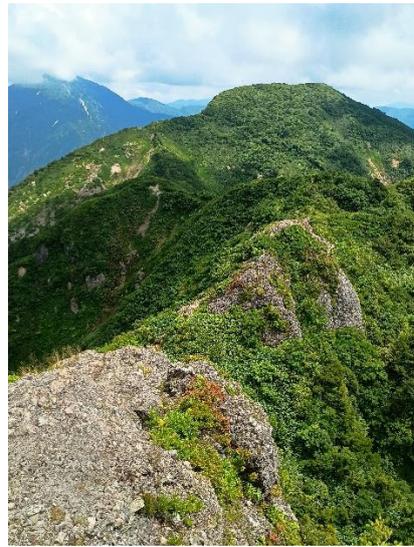
(八海山登山口)



(さくり温泉)



(薬師岳)



(剣ヶ峰)



(大日岳山頂)

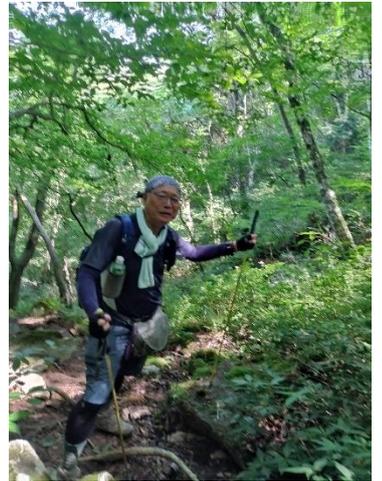


(坂戸山山頂)

涼しかった裏筑波山を振り返り

羽鳥健一郎

案内する人は筑波山を知り尽くし女の川の道イチオシと言う  
すれ違う人も無き道女の川をシニア二人がゆっくり登る  
苔むした大きな岩の此処かしこ女の川コース涼しき登り  
緑濃き女の川コース登り行くヤマアジサイがひっそり咲けり  
カタクリやニリンソウ咲く春先は筑波山詳しく人は指さす  
女体山人で溢れた山頂は暑さもピーク汗の拭き出す  
護摩壇をめざすコースも裏筑波ふたりの他に歩く人無し



## 思い出の山

蓮見久美子

最近のことですが、今年5月18日が記憶に残る日になりました。

長女と次女を伴い、3人で初めて日帰り低山ハイキングに挑戦しました。2人とも仕事をしながら小学生の子供がいるので、興味はあるものの経験はあまりありません。次女とは昨年陣馬山へ行っただけなので、今回も私の靴を貸してあとは手持ちのウェアを使用。長女は10年少し前に私の友人たちと数回近くの山に登った経験があります。早くから日程を調整して、大月駅→菊花山→御前山→猿橋駅を歩きました。

今回の思い出は「靴底問題」と「山火事焼け跡」です。

靴底が剥がれたというのは、少し昔にはたまに聞く話でした。今回の菊花山は駅近の山ですが、短いけど急登の岩もありロープもついています。私、長女、次女の順番でそこを通過した時、次女が一つ靴底が落ちているのを発見！長女の足元を見ると見事に底が無くなっていた。本人は必死なので気が付いていません。私は“だから言ったでしょ”と言いかけた。そう、以前使っていた靴は買い替えるよう言っていたのですが、当日古い靴を履いてきたのです。それよりこれから先が長い。次女と二人がかりで結束バンドとテーピングテープを使い、何とか補修しましたがこれが結構難しい。締め方を勉強してくるんだった、と後悔しました。その後予想通りもう片方の靴底も剥がれ、補修用のバンドも足りなくなりバンダナを巻き付けて凌ぎました。歩いていると当然ズレてくるので途中何度も直しながら、時間はかかったもののように猿橋駅に着くことができホッとしました。本人は十分反省していると思うのですが、私も本当は経験したくなかった出来事でした。

2月末から数日間山火事があったことを知ったのは帰宅後ですが、御前山の付近から、茶色く焼けた杉の木々が少しずつ出てきました。炭のように真っ黒く焼け落ちた木や、尾根の片側全部が赤茶けてしまった場所もありました。2か月以上経っているのに、燃えたあとの臭いがまだ残っていて衝撃的でした。原因は麓で枝などを燃していたものが移ったとの報道でした。

いろいろあった山歩きでしたが、好展望の御前山山頂から見えた富士山がとても美しかったので、3人それぞれ救われた気持ちになったのでは、と思っています。

9月は菅原さん、10月は井上順之さんです。前月の20日を目安に加藤までお願いします。

ちょっと一言

## 「故郷の山」

吉留 政治

私の故郷は、鹿児島県（薩摩国）西北部、北薩地方と呼ばれる四方を山に囲まれた盆地です。西方には「紫尾山（しびさん）」という地域を代表する山があり、東方の遠くには、霧島連山の高千穂の峰なども見ることができます。

紫尾山は、出水市と薩摩郡さつま町に跨る紫尾山地にある標高1067mの北薩地域の最高峰で、古くは山伏の修験道の山で、九州の百名山になっており、山頂からは不知火海、天草諸島、遠くに島原半島を望めます。

小学生の頃は山頂に設置された縦横十数メートルの巨大な金属板（通信用設備？）が太陽の反射で光ることから子供心に不思議な山でした。

この紫尾山には、小学5年の時に担任の先生に誘われ級友たちと初めて登りました。2～3時間の山登りだったと思いますが、途中には、「千尋の滝（せんぴろのたき）」という高さ十数メートルの滝や谷川を渡るところがあり、子供には厳しい登山だったように覚えています。また、この山は、山ヒルの生息が有名で、靴下の中で丸々と吸血した山ヒルにやられたこと、その後の登山では、濡れた岩で転んで後頭部を負傷して、今も残る傷跡が思い出になっています。

今秋には、故郷で還暦以来の小学校の同級会に参加します。山登りや下山後に谷川で素っ裸になって泳いだことを覚えているかな？昔話が楽しみです。

濡れた岩で転んで後頭部を負傷して今も残る傷跡が思い出になっています。



「鹿児島県観光サイト」より

富田 信恵

私はもともと山にはあまり縁がなかったのですが、50を過ぎて自然の豊かさに心惹かれるようになりました。入会してみると、平均年齢75歳（！）の先輩方が元気いっぱい山を楽しんでいて、驚きとともに大きな刺激を受けています。行く道すがら山の草花に目を留めたり、お料理のレシピを教えていただいたり、朗らかな会話が飛び交い、こんな風に歳を重ねていきたいと思うようになりました。まだまだスローペースですが、いつかは北海道や九州、さらには海外の山にもチャレンジしてみたいと思います。自然の中に身を置く時間が何よりの癒しです。これからも皆さんとご一緒できるのを楽しみにしています！



9月号の担当は西堀さんと池谷さんです。

(8月20日までに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)

(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

## 編集後記

先日、坂東三十三観音の御朱印をもらいに本厚木のお寺に行ってきた。  
樹齢 1000 年といわれる大銀杏を見上げながら、御朱印帳を窓口にだすと「券を購入してください」との事…振り向くと小さな機械が設置されていて窓口で売っているお守り、お札、御朱印帳等の名がズラリと書かれていた。その機械で券を買って品物をもらう仕組みになっていた。

百観音巡りで色々なお寺に足を運んでいます。利用券自販機は初めてでした。神社、仏閣にも人手不足と機械化の波が押し寄せてきているのをあらためて感じてきた。御朱印帳はその場での手書きで、心が伝わる美しい文字でした。賽銭箱の♪チャリン♪（魔除けの音だそうです？）を確かめながら“頭健康”を願って手を合わせてきました。

カトちゃん



### 原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月 20 日までにお願いします。

<担当>山岡、桐生

**連名でお願いします**

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和 7 年 8 月 1 日

発行者 東葛山の会

会 長 安彦 秀夫

編 集 会報部